



射水市立東明小学校 学校だより



東明っ子

第18号

令和4年1月11日

3学期が始まりました！

謹んで新春のお喜びを申し上げます

昨年は、学校運営に対してご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

本年も全教職員が一丸となり、子供たちの教育に当たりたいと思います。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

コロナ禍ではありますが、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。



2022

3学期が始まりました。3学期の授業日数は50日（6年生は46日）と少なく、その中で一年間の総まとめと次年度の準備をしなければいけません。3学期の始業式でこのような話をしました。

2学期終業式でお願いした心の大掃除はできたでしょうか。今年はあまり掃除しなくてもいいようにいつもきれいなままにいてくださいね。

(中略)

「春になるとみなさんは何になりますか。」そうですね。

1年生は2年生に、2年生は3年生に、3年生は4年生に、4年生は5年生に、5年生は6年生に、6年生は中学生になります。

(中略)

今日から始まる3学期というのは、次にステップアップする前に、自分の足でしっかり地面を踏みしめる期間なのです。たいへん大事なときなのです。

1年間学んだことをしっかり自分のものにするためにも、力強く踏みしめてほしいものです。



子供たちには、一日一日を大切にしてお充実した時間を過ごしてほしいです。特に6年生は、小学校生活の集大成の学期です。自信と希望をもって中学校へ進学することができるよう一歩一歩踏みしめて、土台をつくってほしいと思います。

お正月の「なぜ?」「あるある!」



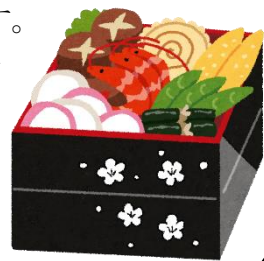
お正月には日本らしい文化があります。

初詣、しめ飾り、鏡もち、お雑煮、おせち料理、お年玉、年賀状、初夢、書初、鏡開き、左義長、天神様などです。

なぜこのような文化があるのでしょうか。「なぜ初詣に行くの?」「どうしてお正月の料理をおせちって言うの?」「なぜ、初夢は2日に見る夢なの?」とお子様から聞かれたら、どのように答えますか。そんな時は、「お母さん(お父さん)は、答えに自信がないから一緒に調べよう。」とこんな一言を言ってみてはいかがでしょうか。

「なぜ?」「どうして?」と疑問をもつことは、『調べ学習』の第一歩です。例えば、インターネットで「正月〇〇意味」と検索すればいろいろな情報を得ることができます。正月をネタにぜひ家庭学習として、一緒に『調べ学習』に取り組んでみてください。

ちなみに、おせち料理の「おせち」とは季節の節目(ふしめ)に当たる「節(せち)」の日を指す言葉で、漢字では「御節」と書きます。かつて平安時代の朝廷は、正月を含む5つの節に「五節会(ごせちえ)」の儀式を行い、特別な料理である「御節供(おせちく)」を神に供えていました。やがて、御節供は最も大切な正月の料理を指し、「おせち」と呼ばれるようになりました。と言うことです。



校内書初大会

始業式の後、校内書初大会を行いました。

今年の題材は1年生「かるた」、2年生「竹うま」、3年生「思いやり」、4年生「光る立山」、5年生「初日の海」、6年生「心に太陽」です。なお1・2年生は硬筆墨を使います。

書初をしている子供たちの様子を見て回りました。「心を落ち着かせて書こう」「練習の成果を発揮しよう」「集中していい作品を仕上げよう」「書き終わっても静かに待とう」など、どの学年にもピンと張りつめた静粛な空気が漂い、真剣に筆を走らせる凛とした子供たちの姿を見ることができました。とても素晴らしい光景でした。



(校長 阿尾昌樹)